

農地・水・環境保全だより第50号

編集・発行 三重県農地・水・環境保全向上対策協議会

活動組織の紹介

◆ 南中村地域資源保全会(度会町)

設立	2,016年（平成28年）
取組面積	田：3,513a 畑：26a 合計3,539a
主要施設	水路：11.5km 農道：8.8km
構成員	農業者個人65名、農業者以外個人18名、その他の農業者団体1名、合計84名



ドローン空撮(南中村地区)



ドローン空撮(ほ場整備された農地)

私たちが活動する地区は、水質日本一の清流「宮川」の支流「一之瀬川」流域に位置し、山々に囲まれた中山間地域です。当地区では、稲作を中心とした農業が営まれています。特に、山からの栄養を豊富に含んだ一之瀬川の清流で育ったコシヒカリは、甘みが強くて旨いと定評です。

一方で、猪や鹿をはじめとする鳥獣被害、高齢化・過疎化を原因とする労働力不足、耕作放棄地、遊休農地の管理といった問題が深刻化しつつあります。こうした現状に対して、地域における持続可能な農業を実現するためには、世代を超えた地域コミュニティが醸成する事、地域皆で農地・農業施設を維持していく事が重要であると考えています。

先述の考えのもと、地域一丸となり共同管理地(水路・農道)等の管理に取り組む事で、世代間の交流を深め、地域コミュニティの強化を図っています。ひいては、農地集積が進む本地域における担い手を下支えする事に繋がっています。

今回は、その活動の一部を紹介させていただきます。

水路

水稻を中心とした当地区では水路は農業の生命線であり、長寿命化を念頭に定期的な点検・診断・メンテナンスを行っています。また草刈りや泥上げは、水路の維持に重要な活動となっており、担い手にとって農業がしやすい環境を提供します。



草刈り



泥上げ



頭首工の点検

農道

農機械の運搬、農産物の出荷等に日々利用し、水路と同じく農業に不可欠な施設です。そのため、草刈りや支障木伐採をはじめ、舗装工事も計画的に実施し、農道の維持を行っています。



草刈り



支障木伐採



舗装工事

景観形成

当地区では、普段の生活で目にする景観をより良くする事に注力しています。なかでも花壇の造成は、将来における地域の担い手となる子どもたちに対して緑を大切にする心を育てています。



花壇の造成



花壇の完成

交流

当地区では、南中村ふれあい文化祭、豊作祈願祭、川遊び体験を実施しています。子どもからお年寄りまで参加する行事を通して、地域住民の交流を深めるとともに、共同の食事の中で地域の課題を共有し合う機会となっています。

また川遊び体験では、子どもたちが清流一之瀬川で育った魚を自分たちで取り、味わう一連の流れを通して、自然の豊かさや環境保護の重要性を学ぶ機会となっています。



南中村ふれあい文化祭



獅子神楽神事



魚とり体験

◆ 清菅 SHK クラブ（松阪市）

設 立	2017年（平成29年）
取組面積	田：5,315a 畑：492a
主要施設	水路：10.3km 農道：4.3km
構 成 員	農業者、農協、土地改良区、営農組合、自治会

私たちが活動する地域では、櫛田川左岸に広がる水田に水稻、小麦、大豆を中心とした農業を営んでいます。

これまで私たちの地域では、県営ほ場整備事業において約120町歩を整備し、3人の担い手を選出しましたが、そのほ場をどう守っていくのか苦慮していました。

しかし、多面的機能支払交付金を活用してみんなで草刈りを実施したり、ツツジを植えることで美観を形成したり、それらの活動に非農家の方や老人会の方、子供会の方、自治会が参画してもらうことで現在では地域のほ場を守ることができています。

また、現在特に力を入れて取り組んでいる活動は、「田んぼダム」の取組です。

数年前に集落内で床上浸水が発生した際に、以前参加した多面的機能支払交付金のつどいで話のあった「田んぼダム」の取組を思い出し、令和3年度に「田んぼダム実証実験」を実施し、令和4年度から「田んぼダム」の取組を26.58haのほ場で実施しています。

「田んぼダム」の取組は、私たちの地区のような下流地域で実施するだけではなく、上流地域にも話をして理解してもらい、みんなの力を集結して取り組むことが大切なので、「田んぼダム」の取組を今後更に広めていきたいと思っています。



田んぼダム実証実験状況



田んぼダム取組状況の様子

INTERVIEW

多面に輝く人たち

Vol.2

県内各地でご活躍の皆様を「多面に輝く人たち」と題してスポットをあててご紹介します。今回は、多気町で『多気の彩土里（いろどり）会』の活動を事務員として支える上田佳奈さんに活動やチラシづくりについてお話を伺いました。



活動について上田さんに聞きました

- Q 多気の彩土里会が特に力を入れている活動を教えて！
- A 作業隊を結成して、老朽化した施設などの補修を直営施工で実施しています。作業隊の皆さんはこれまでの仕事などの経験のノウハウを活動に生かしてくれます。
- Q 活動で大変だったことを教えて！
- A 令和元年に活動を開始してから1年足らずでコロナ渦になり、活動への参加やイベント開催ができないため、活動を多くの人に知ってもらう機会がないことです。
- Q 活動に女性が加わることのメリットを教えて！
- A 女性はアイデアが豊富だと思います。女性の「もったいない」という気持ちが、ひまわり栽培からひまわり油搾取、油かす肥料活用へと活動の幅が広がりました。

チラシについて上田さんに聞きました

- Q チラシ作りに対する思いを教えて！
- A できるだけ多くの皆さんに読んでいただくことで、多気の彩土里会の活動を知っていただき、活動に参加してもらえればいいなと思っています。
- Q チラシ作りで工夫していることを教えて！
- A できるだけ写真たくさん掲載して読んでもらいやすいチラシにしています。また、環境活動にスポットを当てたチラシ「いろどり通信」の配布も始めました。

INFORMATION
多気の彩土里（いろどり）会
 農業用施設の維持管理（草刈り、泥上げ）に加え、地域の作業隊による農業施設の補修、遊休地を活用した農村環境保全活動、学校教育と連携した農業体験を行うなど広範囲で幅広く多面的機能交付金活動に取り組んでいます。



最後に、上田さんご自身について聞きました

- Q 活動に携わってよかったことを教えて！
- A 地域のいろんな人と知り合いになることができ良かったです。
- Q 上田さんの趣味や休日の過ごし方を教えて！
- A 畑作業で草刈り機を使って草刈りをするのが好きです。また、休日は子どものサッカーの応援に行きます。